



多言語医療受付支援システムM³ —用例対訳を用いた外国人患者の支援—

多文化共生センターきょうと
和歌山大学システム工学部

活動 内容

医療機関における多言語受付支援

医療機関における外国人患者と医療従事者とのコミュニケーションを支援するために、多言語医療受付支援システムの構築を行っています。

現在、京都市立病院に多言語医療受付支援システムM³（エムキューブ）を導入し、用例対訳を用いた多言語対話の支援を行っています。M³は用例対訳を用いた受付支援機能を提供しており、病院の受付を母語で行うことができます。



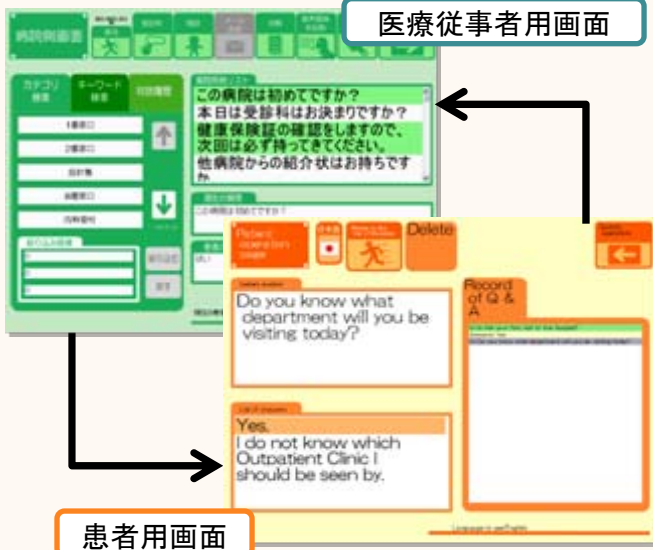
京都市立病院におけるM³利用の様子

言語グリッドの 利用

用例対訳を用いた高精度な対話

医療分野での多言語対話を支援するために、多言語で正確に翻訳された「用例対訳」を利用しています。多言語医療受付支援システムM³では、言語グリッドを利用して対話に用いる文（用例）の対訳を取得し、正確な医療コミュニケーションを実現しています。

対話支援機能



問診機能



受診手続き 支援機能



多文化共生センターきょうと 和歌山大学システム工学部

多文化共生センターきょうとは、国籍・言語・文化や性などの違いを認め尊重しあう「多文化共生社会」の実現のための活動を行っているNPO法人です。

連絡先: 和歌山大学 吉野 孝 【member@m3support.langrid.org】